

巡礼者イニゴ

聖イグナチオ・デ・ロヨラの劇的な生涯の劇

塩谷恵策 SJ

45

第十二幕 第6場

トレヴィサーノ家の居間

1523年7月13日

登場人物：	イニゴ・デ・ロヨラ	巡礼者
	マルコ・アントニオ・トレヴィサーノ	恩人
	トレヴィサーノ夫人	
	子供たち	

マルコ・アントニオ・トレヴィサーノ（父）： キプロス島の新知事たちは、ネ
グローナに荷物を積み終わったそうです。積み終わるまでに、何日も
かかりましたね！家族の分まで、家財道具一式ですから大変です。

風が良ければ、明日出帆の予定だそうです。

イニゴ: あなたと総督 (Doge) のおかげで、いよいよエルサレムに向かうことが出来ます。有難うございます。

マリアとホアニ: えっ? あした?

トレヴィサーノ夫人 (母) : そんなに早くご出発ですか?

いつまでもここにいてくださればいいのに。

父: 子供たちも皆そう言っています。でも、あなたの御決意は固いから……

母: そうですね。イニゴ様がお^{こころざし}志をおとげになるのを、私どもがお邪魔してはいけませんね。……マア、どうなさいましたか?

ドロテア: イニゴ様、お顔が真っ青ですよ。

母: 夕食も、今日はほとんど召し上がっていませんし。

父: こちらのソファーにおかけください。

いや、ちょっと横になってください。

イニゴ: すみません。少し疲れが出たのでしょう。

お腹の具合がよくありません。

母: すぐお医者を呼びましょう。マリア、マリア、イニゴ様がお病気で。

ディサント先生をお呼びして!

マリア: はい、すぐにスマホで連絡します。

父： スマホはまだないだろう？

マリア： ああ、そうでしたね。走って、お呼びしてきます。

イニゴ： すみません、迷惑をおかけして。

第十二幕 第7場

トレヴィサーノ家の玄関

1523年7月14日 出帆の日

イニゴ： トレヴィサーノさん、奥様、ドロテア、マリア、ホアン、皆さん、

本当にお世話になりました。心から感謝しています。

それではエルサレムに向けて出帆します。お祈りください。

父： イニゴさんが我が家にお泊りくださったことは、神様の大きなお恵み

でした。ありがとうございました。神の護りを祈ります。

ホアン： 僕も大きくなったらイエス様の歩かれたエルサレムに行きます。

イニゴさん、お元気で。

ドロテア： イニゴ様、お元気ではないわ。

まだお体は本調子ではないのでしょうか？心配だわ。

マリア： お顔の色も優れないし、とてもお苦しそうですよ。

母： イニゴ様、もう少し回復なさってからご出発になったらいかがですか？
お医者さんは主人に、エルサレムに骨を埋めるつもりなら、乗船してもいいとおっしゃったそうですよ！もっとお生命を大切になさらないと。

父： おまえたち、もう何も言うな！イニゴさんは神様への奉仕と巡礼に命を懸けていらっしゃるのだ。神様に全てをお委ねしよう。

イニゴ： 有難うございます。ご心配をおかけしますが、私は大丈夫です。今は吐き気がありますが、海風に当たれば、直ぐよくなるでしょう。神が望んでいらっしゃると信じる道を行くとき、必ず神が助けてくださいます。

御一家の皆さんの上に、神の祝福と恵みがいつも豊かにありますよう祈ります。 では、行ってまいります。

父： さあ皆で、波止場までお送りしよう。

【語り】 イニゴ達8人のエルサレム巡礼者たちを乗せて、ネグローナ号はキプロス島に向けて出帆しました。ほぼ500年前の1523年7月14日のことです。イニゴはその日激しく嘔吐しましたが、その後スッキリし、速やかに回復していきました。イニゴはこの回復を、神がこの巡礼をイニゴに望んでおられるしるしであると受け止め、感謝しています。